

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



ロータリー：
変化をもたらす



2017-2018年度 RI会長 イアン H. S. ライズリー氏

例会予定 8月16日 休会
8月23日 第7分区クラブ訪問感想 セクレタリー各位

VOL. 55 No. 6(通算No. 2525)

2017年 8月 9日(水) 例会プログラム

点 鐘
ロータリーソング・四つのテスト
ビジター紹介
出席報告
S A A 報告
諸 報 告
幹 事 報 告
会 長 挨 拶
月間に因んで 松坂興一会員増強委員長



2017-2018年度 会 長 石 塚 克 己 幹 事 倉 持 功 典

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

例会報告 VOL. 55 No. 5 (No. 2524) 8月 2日(水)曇り (司会 山牟田 博副委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎研究会報告

◎会員卓話 内村尚史会員・大堀和久会員

誕生祝



《会員》松坂興一会員

《ご夫人》石塚(利)会員

諸報告

雑誌委員会 鈴木茂徳委員長

冒頭、RI会長メッセージとして「ストーリーを語る数字」という記事がございますので、目を通していただければと思います。

7ページから「これまでの殻を破る」としまして、会員増強・新クラブ結成の内容が記載されています。8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。会員増強に成功しているクラブとともに、この1年で結成された新クラブが紹介されています。

15ページからは「地元の力を生かす」ということで、世界92の国々で20万人を超えるボランティアを動員して展開されている“ロータリー地域社会共同隊”の活動を紹介しています。

24ページからの「財団の100周年を祝う」では、6月にアメリカのアトランタで開催された国際大会に日本から参加した、国際ロータリー日本青少年交換委員会アドバイザー 近藤真道さんと、京都洛西ローターアクトクラブ元会員 水戸大志さんの手記が掲載されていますので、読んでいただければと思います。

31ページより「ニュージェネレーション」32ページより「よねやまだより」もありますので、見ていただきたいと思います。

最後に、今月号でわたくしが一番興味深く読んだのが、「友愛の広場」に投稿された松原RC妻谷さんの、ゴルフでアルバトロスを達成した「うれしい恐怖体験」です。アルバトロスはアマチュア・ゴルファーでは600万回に1回の確率でしか成功しないそうです。ゴルフファンは是非ご一読ください。

青少年奉仕委員会 五木田裕一委員長

ライラセミナーのご案内

10月7日(土)～10月9日(月) 茨城県立児童センターこどもの城(大洗町)で開催されます。締切が8月31日となっております。

幹事報告 倉持功典幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 守谷RC 8月11日(金)休会、8月18日(金)17時より峰林荘
龍ヶ崎中央RC 8月4日(金) 18時30分より 印西市花の家

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

会長挨拶 石塚克己会長



会員の皆様、こんにちは。8月第1週のご挨拶を申し上げます。

本日は4名の会員のお話の場があります。時間が足りませんと失礼になりますので時候の挨拶と新定款細則については省略しますので週報にてご覧ください。

・・・夜中と今朝の地震には驚かされました。また、新聞取りに玄関を開けた時、空気が入れ替わったような涼しさにもびっくりです。この時期、猛暑を表す「暑気あたり」、「田水沸く」という大和言葉があります。元々、「暑気あたり」で体調を崩した人へのお見舞いから生じた用語「暑中お見舞い申し上げます」とは違った気候です。しかし涼しいといってもやはり夏です。夜は何かと冷たいアルコールが五臓六腑にしみわたりますが、自分も含めて皆様も暴飲のほうには十分注意したいものです。

・・・以上、時間の関係で例会では省略

この1週間、2820地区では社会奉仕研究会、国際奉仕研究会が開催。染谷正美委員長、鈴木勝久委員長、地区国際奉仕総括委員長の瀬戸さん、世界社会奉仕委員の石井さん、青木清人ガバナー補佐も出席されました。お疲れさまです。本日はご報告のほど、併せて卓話を頂く内村さん、大堀さん、どうぞ宜しくお願いいたします。

8月は会員増強・新クラブ推進月間でございます。今月の例会プログラムも本日の新会員卓話、第2週に松坂会員増強委員長による月間卓話、第4週にセクレタリーによる分区内クラブ訪問感想となっております。

入会后、ロータリーや水海道クラブの感想及び職業のこと、松坂さんにおかれましては在籍40年の立場から鑑みる水海道クラブ会員増強の歩み、そしてセクレタリーの方々が見て感じた他クラブの実情、長所、問題点など、それらをとおして、今後の会員増強意識や課題を共有できればと楽しみにしております。

・・・昨年度からの新定款細則により入会の条件が大分、緩和されましたが、当クラブにおいては「例外として」の解釈で実質は従来どおりの入会条件、例会、クラブ運営になりました。これによりいわゆる少人数クラブの新会員が伸びてしかるべき。今後、日本、海外のクラブにどのような効果をもたらすか注意深く見守っていききたいと思います。

・・・以上、時間の関係で例会では省略

6月に石岡での会員増強セミナーに青木清人ガバナー補佐、倉持幹事と出席してきましたが、追って別の機会に触れることにします。

以上、会長挨拶とします。

研究会報告

社会奉仕委員会 染谷正美委員長



地区社会奉仕委員会による研究会が7月29日(土)水戸三の丸ホテルで開催され参加して参りました。研究会は保延輝文ガバナーの挨拶から始まり、社会奉仕総括委員長の郡司孝夫さまから本日の内容、地区社会奉仕活動について説明がありました。

1. 社会奉仕の原点に戻り、その活動の中心的役割になるよう
2. その活動が地域社会に必要とされる物なのか
3. 奉仕活動が社会にアピールされているか

等を考慮して活動して下さいと述べられました。

午後からは、各分区で代表8クラブが活動事例の発表となりました。第7分区では牛久クラブの根本清美社会奉仕委員長が独居老人救急ペットボトル事業の説明をされました。独居老人宅全戸対象に救急ペットボトルを配布する。その内容は、大口のペットボトルにRCラベルを貼付して中に健康保険証、お薬手帳、緊急連絡

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

先等々を入れ冷蔵庫に保管し、これを民生委員、消防署にも周知徹底して、緊急時に困らないようにする。この活動を3年で3,500本準備、配布した活動を発表されました。高橋賢吾ガバナーエレクトの総評で社会奉仕研究会が終了しました。

国際奉仕委員会 鈴木勝久委員長



開催日:平成 29 年 7 月 30 日

会場:ホテルグランド東雲

出席者及び報告者:国際奉仕委員長 鈴木勝久

7 月 30 日にホテルグランド東雲で行われました国際奉仕研究会の報告をさせていただきます。

10:00 時開会でスタート、最初に瀬戸国際奉仕総括委員長のあいさつから始まりまして、司会は石井康弘委員が務めておられました。

プログラムの方ですが、最初に藤井パストガバナーが委員長をされておられる地区財団の方から報告がありまして、補助金の申請の手続きに関して、苦言を呈されまして、もっとしっかりと各クラブの国際奉仕で事業審査をしてもらった上で、申請書を提出してほしいとのことでした。事業審査や申請手続きを財団の方に任せてしまうクラブもあるとのことのようです。

次に、友部RCの柴山委員から「ミルクバンク」の事業報告がありました。

「ミルクバンク」とは何かといいますと、わかりやすく言いますと、昔日本でも「もらい乳」というのがあったと思いますが、基本的には同じような考え方になります。

母乳の提供者からもらった母乳を冷凍保存し、必要に応じて母乳を提供するという制度です。

始まりは 1909 年オーストラリアで始まったとのことですが、母乳の成分は女性の血液がもとになっているので、エイズが世界的に流行した時に事業がだめになったそうですが、また最近になって「ミルクバンク」の必要を訴える団体が増えてきているそうです。

メリットとして、牛乳や粉ミルクと違い、母乳は健康的で多くの免疫成分が含まれていて、早産の乳幼児の病気のリスク回避に大きな効果があるとのことでした。

逆にデメリットとして、先ほどもお話ししましたが、感染症に対するリスクがあるとのことでした。これは殺菌装置が普及することでリスクが減るようですが、時間もかかるようで、まだまだこれからの事業という印象を受けました。

ただ、災害時にもとても有効なので、何とか広げていきたいとの報告でした。

昼食をはさんで午後からは、「この指とまれプロジェクト」の報告がありまして、6クラブの事業報告がありました。

その後、国際奉仕共同の報告がありまして、現在 2820 地区と友好地区になっているタイとフィリピンの交流事業の報告がありました。

それと合わせて、先日 6 月にアメリカのアトランタで国際大会が行われたばかりでしたので、2018 年のカナダのトロントでの国際大会への参加の呼びかけがありました。

Q&A形式で国際大会の説明がありましたが、大会に参加できる資格はロータリアン関係者であれば登録OKとか、期間中は日本人朝食会やガバナーナイトがあるなど説明をいただきました。ちなみにトロント大会は登録料\$335(約 37000 円)で 12/15 締切とのことでした。

そのあとは国際親善奨学金の報告がありまして、最後に質疑応答がありました。

その時の質問で、「現在 2820 地区の友好地区がタイとフィリピンですが、今後友好地区が増えることがないの

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

か」との質問があり、それに対してもともと友好地区はロータリアンの個人対個人の友好関係が広がっていき現在に至っている、タイ・フィリピン以外の地区との交流ができていいのではないかと回答でした。以前はオーストラリアとの友好関係もあったのですが現在はなくなってしまい、しかし水海道RCのようにクラブ単位で友好関係を残しているところもあると思うので、そのようなところが復活することもありうるということでした。

私の感想なのですが、今ツウンバとの交換留学生の事業も30年を超えて、正直ずいぶん長い事業だなと思うこともあったのですが、今回この話を聞いて、海外のクラブと交流をして信頼関係を続けていくのは時間もかかるし、とても大変なことだなと感じまして、またこれは水海道RCの歴史でもあるので大事にしていかなければいけないと感じました。

今年度は水海道から学生を送り出すことはできませんでしたが、よい機会なので、こちらからツウンバへ行ってメンバーの交流を行い、改めてツウンバとの信頼関係を深めることも重要なかなと思った研究会でした。報告は以上です。ありがとうございました。

会員卓話

内村尚史会員



本年4月に善人の本橋支店長の後任として水海道支店長を拝命し、前任同様水海道ロータリークラブに入会させて頂き、誠にありがとうございます。

約4か月が過ぎまして初めて卓話の機会を頂きましたので、改めて自己紹介を含めてお時間を頂きます。

私は昭和43年9月に茨城県土浦市で一般的なサラリーマン家庭の三男として生まれ、土浦第二中学校、今年の夏の甲子園出場を決めました土浦日本大学高等学校を経て、日本大学卒業後、平成3年に現在の勤務先筑波銀行の前身である関東銀行研究学園都市支店(現:つくば営業部)に入行いたしました。私が入行した時代はちょうどバブル崩壊と同時期でもあり、入行後社会人経験が少ないながらも、金融環境を含めて社会が変化していく様子を実感していった記憶が残っております。

その後、守谷支店・本店営業部・大みか支店・石下支店・神栖支店・牛久東支店・千代田支店・土浦北支店・本部(融資部)を経験し、現在の水海道支店が11ヶ店目の配属となります。その間に当行は2度の合併を経験しております。1度目は平成15年4月に関東銀行とつくば銀行の合併、2度目は平成22年3月の関東つくば銀行と茨城銀行の合併です。

さらにそれぞれの銀行の沿革を遡りますと、関東銀行は株式会社関東銀行として昭和27年9月に設立されました。つくば銀行は下妻無尽株式会社として昭和2年に創立され東陽相互銀行への商号変更後、普通銀行に転換し、つくば銀行となりました。また茨城銀行は大正10年に茨城無尽株式会社として創立され茨城相互銀行への商号変更後、普通銀行に転換し、茨城銀行となりました。無尽とは遡ると江戸時代以前から存在する日本の金融の一形態であり、無尽から発展したものとしては現在の第二地方銀行、消費者金融に多く見られております。ちなみに当店の前身は下妻無尽株式会社の12番目の出張所である水海道町出張所として昭和3年10月に開設された旧水海道中央支店と昭和28年4月に開設された関東銀行水海道支店が統合されて現在に至っております。

3行ともに茨城県に基盤を持つ歴史ある銀行であり、合併という事業は本部・営業店ともに非常に多大な負荷の係る作業であったことと記憶しております。

その合併の歴史の中で、平成22年3月の新生筑波銀行の誕生当時の木村頭取のメッセージがいまでも心に残っており、その一部をご紹介させて頂きたいと思っております。

『当行は合併によって預金、貸出金ともボリュームアップいたしました。しかし、規模の拡大だけでは十分とは言えません。大切なのは経営の効率化を図りながら新たな戦略を実行することです。具体的には、店舗統廃合や本部体制の見直しにより生まれてくる人材を、営業店や今まで対応できなかった分野へ積極的に投入

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

することで、お客様に対し今まで以上のきめ細かい対応や新しいサービスの提供を積極的に進めていきたいと考えています。その実現のためには、人材の融合と育成を図っていくことが重要な鍵になります。「企業は人なり」と言います。当行は合併によりグループ6社を含め約2,000名を超える役職員を有する規模となりますので、グループ企業としての結束は欠かせません。このことについては、日頃私自身の目標としている2つの「認(忍)」と2つの「信(新)」について述べてみます。認める「認」と信じる「信」は言葉の通り、相手を認め、相手を信じるということです。「認」はお互いの良さを組織やその中で働く人たちがそれぞれの人格を含めて互いに認め合うこと。「信」はお互いに信じ合うということです。人は時には相手を疑って見るが必要な時もありますが、まずは相手を信じるということ。そして、忍ぶ「忍」と新たな「新」も大事です。「忍」は文字通り耐える、辛抱するということです。自分の意見を主張するだけでは、物事は決してまとまりません。組織の中で円滑に業務を遂行するには耐えることも必要であるということです。そして、「新」は古きを尊ぶと同時に新たなものを創造すること、すなわち新しいことへチャレンジする勇気が大切です。この認(忍)と信(新)は我々新銀行にとっての大切なキーワードでないかと思います。一人ひとりが意味するところを理解され、是非実践していただきたいと思います。』というメッセージでした。

人それぞれ心に残る言葉や座右の銘はさまざまかと思いますが、私にとってと言いますか、支店長として支店を預かる立場として、私は当時の木村頭取の言葉を心に置き現在支店長職を務めさせて頂いております。職場において行員同士がそれぞれの力量を認め合い、信頼し合うこと。また耐えることから生まれる協調性の醸成から団結して新たな分野へチャレンジすること。理想論かもしれませんが、理想へ近づけるための努力を今後も継続していきたいと考えております。

最後に当行のPRになってしまいますが、当行の現在の中期経営計画におけるコンセプトは「ファースト・コール・バンク」です。茨城県発祥の地域金融機関として、皆様の身近で、皆様の信頼のもとに、存在感のある銀行を目指しておりますので、是非ともどんな些細なことでも、まず一番にお声かけていただけますよう、よろしくお願ひ致します。

以上、自己紹介と当行のPRも兼ねまして卓話とさせて頂きました。ご清聴ありがとうございました。

大堀和久会員



皆様こんにちは、新会員の大堀です。

この度は、私のため皆様の貴重な時間をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、今回が初めての卓話ですので、5月の新会員紹介と重複する事もあるかとは思われますが、ご理解頂きますようお願い致します。

今回は、自分史を含めて「なぜ私は水海道ロータリークラブに入会したのか」をお話しさせていただきます。

私は、1961年(昭和36年)3月31日生まれの56歳、水海道市天満町で生を受けました。

姉・私・弟の3人兄弟になります。もちろん愛情をかけて育ててくれましたが、兄弟の真ん中は理不尽な事が結構多かったように思います。

例えば兄弟喧嘩、姉との時は両成敗・弟だったら兄貴が悪い、そんな感じでいつも愛をこめた往復びんたが飛んできました。

本当に痛かった、今でも忘れられません。

当然、学習能力が働き要領は良くなったと思います。

そして、昔ですのでアウトドアで毎日よく遊びました。

こんな私に、人生の一回目の望みもしない転機が訪れたのは、1978年(昭和53年)高校二年の17歳の時、親父が突然病死してしまいました。

享年49歳あまりにも早すぎる死に、家族は露頭に迷う思いでした。

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

ハンマーで殴られたような強い衝撃を受け、そして柄にもなく使命感に燃えてしまい家業の建設業に身を置く決意をし、それまでよりは少しは勉強にも励みました。「これ以上不幸になりたくない」と強く思いました」

大学卒業と同時に家業を継いだ私に、二回目の転機が訪れたのは、1990年(平成2年)29歳の時、家業を繋いでくれた母親が病(脳卒中)に倒れてしまい、経営の全てを任せられる事になってしまいました。

この時、私は仕事に全てを集中する事を選択しました。

二人の兄弟はそれぞれに新しい家庭を築いており、私が支えて行かなければならないのは、会社と母親だけだったのは不幸中の幸いであったと思います。

また、母も現代医療のお蔭で後遺症も軽く済み、85歳の現在も元気で居てくれます。「感謝、感謝です」

三回目の転機は、3年が過ぎてやっと家族を持つ自信もついてきたときに幸運にも現在の妻と知り合った事です。

忘れもしない、1995年(平成7年)2月19日に無事ゴールインする事が出来ました。阪神淡路大震災(1月17日)が発生した年でもあり、前途多難を予感させるスタートになってしまいました。

その後、二人の娘も授かりました。「本当にありがたいことです」

この三回の転機を良い方向に進んでいけたのは、やはり困った時に私を支え、助けてくれる人が現れたこと。「生涯感謝の気持ちは忘れません」

そして、現状をしっかり受け止め諦めたり逃げたりしないで、選択と集中に務める事が出来たからだと思います。「最近出来ていませんか？」

最後に水海道ロータリークラブに入会した理由としては、人間を成長させるのは環境を変える事(転機)が必要だと考えるからです。

先週の染谷会長エレクトのお話しの中で、新会員は楽しいかどうかと仰ってましたが、楽しいわけありません。それだけ奥が深いと感じているからです。

私の場合は、スポーツでも勉強でも何でもある程度まで理解、上達しなければ楽しくはなりません。このクラブ活動も、これから時間をかけて楽しくなればと考えております。

ご清聴ありがとうございました。

出席報告 五木田利明委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メイク	出席率
52名	38名	14名	0名	1名	75.00%

ニコニコボックス 大澤 清委員長

入金計 ¥33,000 累計 ¥315,000

誕生祝御礼<<会員>>松坂会員(暑中お見舞い申し上げます。充分御自愛下さい。)

<<ご夫人>>石塚(利)会員

内村さん、大堀さん、新会員卓話宜しくお願い致します。 石塚(克)会員

大堀会員、大きな地震の後、夜中2時からの見回りお疲れ様でした。 倉持会員

本日卓話をさせていただきます。宜しく申し上げます。 大堀会員

内村会員、大堀会員、卓話宜しく申し上げます。 山牟田会員

新会員の皆様、末永くよろしくお願い致します。 石井会員

長女紗和子がイギリスに大学院生として留学することになりました。無事を祈って・・・北村(英)会員

今週守谷RCへ行ってきます。 染谷(秀)会員

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

全国小学生空手道選手権大会に県代表で4名の少年少女が出場します。 秋田会員
ガバナー補佐の分区内公式訪問が始まります。 青木(清)会員
地区社会奉仕研究会に参加しました。 染谷(正)会員
内村さん、大堀さん卓話楽しみにしています。 荒井会員
例会欠席しました。 大澤・鈴木(茂)・山野井 各会員

会報委員会 福田克比古委員長 荒井孝典副委員長 内村尚史委員

